



コロナ対策とワクチン接種

前号でも申し上げましたが、あらためてコロナに対応いただいている皆様に心より感謝申し上げます。コロナとの対応も2年目となり、少しずつわかることも増えています。

政府の対応はメディアで批判されることも多いのですが、未曾有の危機の中、強制的にロックダウンすることなく、感染防止対策と経済の再生に取り組んできました。人口に対する感染者数や死者数を比較すれば我が国のコロナ対策は欧米各国と比べれば、頑張っています。（資料参照）

もちろん反省すべき点はある、経験したことを今後の対策に活用して行かなければなりません。

コロナ対策

自民党横浜市議員団としてもコロナに対する医療提供体制の確保は以前から市長に要望してきました。

横浜市は、感染の再拡大に備えて、陽性患者用の病床の増床に努め、重症者・中等症者の病床を550床確保しています。その内ICUなど重症者用は86床です。また、発熱等のコロナを疑う患者を受け入れる病床も医療機関のご協力で約200床を確保しています。感染者がゼロになることが理想かもしれませんが、現実的には難しいので、重症化してもしっかりと治療を受け、コロナで亡くならないように医療提供体制を確保しなければなら

（資料 厚生労働省） 国別感染者数と死亡者数

国名	感染者数(人)	死亡者数(人)
日本	472,112	9,113
韓国	103,088	1,731
中華人民共和国	90,201	4,636
アメリカ	30,393,001	550,967
フランス	4,646,014	95,495
ドイツ	2,818,630	76,389
インド	12,095,855	162,468
イタリア	3,561,012	108,879
イギリス	4,355,867	126,912
ブラジル	12,658,109	317,646
台湾（中華民国）	1,024	10
ニュージーランド	2,497	26

日本の死因と死亡者数

死因死亡者数	(令和元年度)(人)
がん（悪性新生物）	376,425
心疾患	207,714
老衰	121,863
脳血管疾患	106,552
肺炎	95,518
誤嚥性肺炎	40,385
不慮の事故	39,184
腎不全	26,644
血管性等の認知症	21,394
アルツハイマー病	20,730
令和元年度死亡者数	1,381,093
新型コロナウイルス感染症	9,110

（新型コロナウイルス感染症については令和3年度3月31日現在）

ないと思います。コロナ対応の病床を増やすためには、医療従事者の方々や民間病院にお願いしなければなりません。そのためにはコロナに対応していただける病院や医療従事者に対する待遇をしっかりと補償することが大切です。また、重症者対応の病床が逼迫しないためにも、重症から回復に向かう患者を受け入れてくれる病院を増やさなければなりません。

PCR検査などに対応する保健所の体制強化も必要で、横浜市は係長級の職員を各区に1人配置し、市内に合計55人増員しました。保健所職員の方の精神的な疲労も溜まっているので、少しでも休んでいただけるような環境を整備すべきだと思います。

ワクチン接種

コロナ収束の決め手となり得るワクチン接種は横浜市のホームページに掲載されている通り、接種場所は①公会堂などを会場とする「集団接種」②病院・診療所などの「個別接種」③高齢者施設での「施設接種」の3パターンで実施する予定です。医療従事者は既に接種が始まっています。高齢者、基礎疾患のある方、高齢施設従業者から優先的に接種いただき、まずは4月12日以降に③の高齢者施設等に入所されている高齢者の方から開始する予定です。①の「集団接種」は5月中旬から、②の「個別接種」は6月以降の予定です。旭区の①「集団接種」は旭スポーツセンターを予定しています。市長も答弁されましたが、ワクチン接種は医療従事者の確保が最大の課題であり、医師会や歯科医師会、薬剤師会など医療関係団体の皆様にご協力いただき、オール横浜で取り組むこととなります。

横浜市は、今後、市民の皆様あてに、個別通知（接種券含む）を発送します。接種券がお手元に届いた方から、予約をしていただき、ワクチン接種が受けられます。

古川なおきプロフィール

県立希望ヶ丘高校・明治大学 卒業/
 明治大学公共政策大学院 修了
 横浜銀行勤務後、衆議院議員秘書
 平成7年4月 横浜市議員初当選(26才最年少)
 自民党横浜市議員団・無所属の会 団長
 横浜市会FCキャプテン
 希望ヶ丘高校同窓会桜蔭会 理事
 旭区食品衛生協会顧問/旭区サッカー協会顧問
 旭区スポーツダンス協会顧問/旭区卓球協会顧問
 旭区剣道連盟顧問
 2018横浜マラソン完走 5時間8分

(注) ファイザー社製のワクチンについては、接種対象は16歳以上の方になります。

市民の皆様からのワクチンに関するお問合せや不安の声にお答えするため、ワクチン接種専用コールセンターも300回線の体制で開設しています。私も電話で問い合わせしましたが、丁寧にご対応いただきました。

ワクチンを安全かつ効率的に医療機関や集団接種会場に配送できるよう、4月には、ワクチン配送管理センターを設置します。ワクチン接種は発症の予防、流行の防止に大きな役割を果たすので、円滑に、安心してワクチンを接種していただけるよう、引き続き市を挙げて全力で準備を進めていきたいと思っています。我が国のワクチン開発は、ロシアや中国、インドよりも遅れています。政府も3200億円を新型コロナワクチンの開発や生産体制の整備にあてました。ワクチンの開発力は外交力や安全保障の観点からも重要なので、国産ワクチンの開発にしっかりと取り組んでいただきたいと思っています。

先日もある医師の方とお話させていただきましたが、感染しないために三密（密閉・密集・密接）を避け、手洗いマスクも馬鹿にしないでしっかり行うことが大切です。不安を煽るようなメディアに振りまわされることなく、正しい知識と行動で感染予防に努めたいと思います。

横浜市議員 古川直季

横浜市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター

☎ 0120-045-070

受付時間：毎日9時から19時まで

対応言語：日本語 英語 中国語 韓国語

F A X：050-3588-7191

メー ル：kf-info-vaccine@city.yokohama.jp

おすすめの本

「新型コロナとワクチン 知らない和不都合な真実」
 峰 宗太郎 山中浩之 共著

「専門医が教える新型コロナ・感染症の本当の話」
 忽那賢志 著